

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公表番号】特表 2018-505272 (P2018-505272A)

【公表日】平成 30 年 2 月 22 日 (2018.2.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-007

【出願番号】特願 2017-537422 (P2017-537422)

【国際特許分類】

C 1 1 D 1/83 (2006.01)

C 1 1 D 1/75 (2006.01)

C 1 1 D 1/29 (2006.01)

C 1 1 D 1/06 (2006.01)

C 1 1 D 3/04 (2006.01)

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

B 0 8 B 3/08 (2006.01)

C 1 1 D 1/14 (2006.01)

【 F I 】

C 1 1 D 1/83

C 1 1 D 1/75

C 1 1 D 1/29

C 1 1 D 1/06

C 1 1 D 3/04

C 1 1 D 3/37

B 0 8 B 3/08

Z

C 1 1 D 1/14

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 29 日 (2019.11.29)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 1 7 】

いくつかの実施形態において、本濃縮水性発泡性洗浄組成物は、総水性発泡性組成物の約 0 重量%以上～約 10 重量%以下、好ましくは約 1 重量%以上～約 5 重量%以下、及びより好ましくは約 2 重量%以上～約 4 重量%以下の範囲の、ヒドロトロップ、好ましくはクモールスルホネートまたはその酸を含んでもよい。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 1 8 】

いくつかの実施形態において、本希釈水性発泡性洗浄組成物は、総水性発泡性組成物の約 0 重量%以上～約 0.2 重量%以下、好ましくは約 0.02 重量%以上～約 0.1 重量%以下、及びより好ましくは約 0.04 重量%以上～約 0.08 重量%以下の範囲の、ヒドロトロップ、好ましくはクモールスルホネートまたはその酸を含んでもよい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

洗浄される表面から低温で汚れを除去するための水性発泡性洗浄組成物であって、

前記水性発泡性洗浄組成物は：

0.1重量%以上10重量%以下の、直鎖及び/または分岐鎖  $C_{1-2}$  アルキルジメチルアミンオキシド、並びに直鎖及び/または分岐鎖  $C_{1-4}$  アルキルジメチルアミンオキシドの混合物と；

0.1重量%以上10重量%以下の、ドデシル（オキシエチレン） $_w$  スルフェート（式中、 $w$  は、1～10の範囲にわたる平均モル数を表す）と；

0.1重量%以上10重量%以下の、少なくとも1つのポリオキシアルキレンアルキルエーテルカルボン酸もしくはその塩と；

0.5重量%以上10重量%以下のアルカリ性源と；

1重量%以上5重量%以下のヒドロトロープと；

0.5重量%以上2重量%以下のポリカルボキシレートと；

少なくとも45重量%の水と、を含み、

前記少なくとも1つのポリオキシアルキレンアルキルエーテルカルボン酸もしくはその塩は、以下の式（I）によって表され、



式中、

R は、8～18個の炭素原子を有する直鎖及び/もしくは分岐鎖アルキル基を表し、

AO は、2～4個の炭素原子を有するアルキレンオキシ基を表し、

$n$  は、1～20の範囲にわたる平均モル数を表し

$A'$  は、1～3個の炭素原子を有するアルキレン基を表し

M は、Hもしくはカチオンを表し、

$m$  は、Mの価電子数と等しい数を表す、水性発泡性洗浄組成物。

【請求項 2】

前記  $C_{1-2}$  アルキルジメチルアミンオキシド対前記  $C_{1-4}$  アルキルジメチルアミンオキシドの重量%比は、10：1～1：10であり、前記重量%は、前記組成物の総重量に基づく、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

N - ラウリル - N , N - ジメチルアミンオキシドと；

N - テトラデシル - N , N - ジメチルアミンオキシドと；

少なくとも1つのアニオン性界面活性剤と、を含み、

前記アニオン性界面活性剤は：

ドデシル（オキシエチレン） $_w$  スルフェート（式中、 $w$  は、1～10の範囲にわたる平均モル数を表す）、ならびに

前記式（I）によって表される少なくとも1つのポリオキシアルキレンアルキルエーテルカルボン酸もしくはその塩、であり、

式中、

R は、10～16個の炭素原子を有する直鎖及び/もしくは分岐鎖アルキル基を表し、

AO は、2～3個の炭素原子を有するアルキレンオキシ基を表し、

$n$  は、2～10の範囲にわたる平均モル数を表し、

$A'$  は、1～2個の炭素原子を有するアルキレン基を表し、

M は、Hもしくはカチオンを表し、

$m$  は、Mの価電子数と等しい数を表す、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記アミノキシドの総量対前記アニオン性界面活性剤の総量の重量％比は、1 : 4 ~ 1 : 0.4 の範囲であり、前記重量％は、前記組成物の総重量に基づく、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

前記水性発泡性洗浄組成物は、アルカリ性源を含み、前記アルカリ性源は、アルカリ金属水酸化物、アルカリ金属塩、ホスフェート、アミン、及びそれらの混合物を含む、請求項1 ~ 3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

前記ヒドロトロップは、クメンスルホネートである、請求項1 ~ 4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

前記水性発泡性洗浄組成物は、500 Mw ~ 50000 Mwの分子量を有するポリマーポリカルボキシレートを含み、前記ポリマーポリカルボキシレートの前記分子量は、完全に中和されたナトリウムポリマーポリカルボキシレート(sodium polycarboxylate)に基づく、請求項1 ~ 6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項8】

0.1重量％以上 ~ 10重量％以下の、直鎖及び/または分岐鎖 $C_{1-2}$ アルキルジメチルアミノキシドの混合物、ならびに直鎖及び/または分岐鎖 $C_{1-4}$ アルキルジメチルアミノキシドの混合物と；

少なくとも1つのアニオン性界面活性剤と；

0.5重量％以上 ~ 10重量％以下の、アルカリ性源と；

60重量％超の水と、を含む、水性発泡性洗浄組成物であって、

前記アニオン性界面活性剤は：

0.1重量％以上 ~ 10重量％以下の、ドデシル(オキシエチレン) $_w$ スルフェート(式中、 $w$ は、1 ~ 10の範囲にわたる平均モル数を表す)、ならびに

0.1重量％以上 ~ 10重量％前記式(I)で表される少なくとも1つのポリオキシアルキレンアルキルエーテルカルボン酸もしくはその塩、またはその混合物、であり、

前記構成成分の前記重量％は前記組成物の総重量に基づき、前記構成成分は、前記水性発泡性洗浄組成物の前記構成成分の総重量が100重量％を超えないように選択される、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項9】

洗浄される表面から低温で汚れを除去するための水性発泡性洗浄組成物であって、

前記水性発泡性洗浄組成物は：

0.002重量％以上 ~ 0.2重量％以下の直鎖及び/または分岐鎖 $C_{1-2}$ アルキルジメチルアミノキシドの混合物、ならびに直鎖及び/または分岐鎖 $C_{1-4}$ アルキルジメチルアミノキシドの混合物と；

少なくとも1つのアニオン性界面活性剤と；

0.01重量％以上 ~ 0.2重量％以下のアルカリ性源と；

0.02重量％以上 ~ 0.2重量％以下のヒドロトロップと；

0.01重量％以上 ~ 0.1重量％以下の、4000 Mw ~ 6000 Mwを有するポリカルボキシレートと；

98重量％ ~ 99.9重量％の水と、を含む、水性発泡性洗浄組成物であって、

前記アニオン性界面活性剤は：

0.002重量％以上 ~ 0.2重量％以下のドデシル(オキシエチレン) $_w$ スルフェート(式中、 $w$ は、1 ~ 10の範囲にわたる平均モル数を表す)、ならびに

0.002重量％以上 ~ 0.2重量％以下の式(I)で表される少なくとも1つのポリオキシアルキレンアルキルエーテルカルボン酸もしくはその塩、またはその混合物、であり、



式中、

R は、8 ～ 18 個の炭素原子を有する直鎖及び / もしくは分岐鎖アルキル基を表し、

A O は、2 ～ 4 個の炭素原子を有するアルキレンオキシ基を表し、

n は、1 ～ 20 の範囲にわたる平均モル数を表し、

A ' は、1 ～ 3 個の炭素原子を有するアルキレン基を表し、

M は、H もしくはカチオンを表し、

m は、M の価電子数と等しい数を表し、

前記構成成分の前記重量％は、前記組成物の総重量に基づき、前記構成成分は、前記組成物の全ての構成成分の総重量が 100 重量％を越えないように選択される、水性発泡性洗淨組成物。

【請求項 10】

前記水性発泡性洗淨組成物は、7.0 ～ 14.0 の範囲の pH を有する、請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載の水性発泡性洗淨組成物。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載の水性発泡性洗淨組成物を含む、泡組成物。

【請求項 12】

泡安定性を有し、最初の泡の体積に基づいて、1 分後の泡の体積の減少は 10 体積％～20 体積％であり、2 分後は 15 体積％～25 体積％であり、5 分後は 15 体積％～25 体積％であり、10 分後は 20 体積％～30 体積％である、請求項 11 に記載の泡組成物。

【請求項 13】

10  $\mu\text{m}$  以上～2000  $\mu\text{m}$  以下の範囲の平均泡直径の気孔径  $D_{50}$  を有する、請求項 11 又は 12 に記載の泡組成物。